

だがしや楽校 @ 南三陸町・伊里前小学校

開催日：2011年5月4日（水曜日）

場 所：南三陸町立伊里前小学校

（宮城県本吉郡南三陸町歌津字伊里前113）

情報及び写真提供：阿部等さん（だがしや楽校だがしや倶楽部）

2011年3月11日の14時46分に発生した“平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震”（東日本大震災）によって壊滅的な被害を受けた地域のひとつ、宮城県本吉郡南三陸町にある伊里前（いさとまえ）小学校にて、こどもの日を前にした5月4日、“だがしや楽校”が開かれました。

この“だがしや楽校”について、主宰した阿部等さんより写真と共に報告をいただきましたので、お伝えしたいと思います。

はじめに、南三陸町と伊里前小学校についてご紹介しておきます。

宮城県本吉郡南三陸町は、人口約17,000人の町でした。2007年、志津川町とその北東に位置していた歌津町が合併し、南三陸町は誕生しました。南三陸町の町役場は旧志津川町に設置され、旧歌津町には町役場の支所が設けられました。伊里前小学校は旧歌津町の中心市街地の一角にある学校です。南三陸町の町役場から旧歌津町の中心市街地までの距離は約7kmです。

三陸と言えば、リアス式海岸。南三陸町も入りくんだ湾が連なり、山並みは海岸にまで迫り、平野部はごく僅かという地形です。

南三陸町の主な産業は、カキ・ホタテなどの養殖漁業に加え、最近は観光として体験型農漁業にも力を入れてきました。

特に山形県として注目は、庄内町と友好町の提携を結んでいることです。友好関係は2006年、当時の旧歌津町と旧立川町で結ばれました。しかし、その後、双方とも合併により南三陸町と庄内町となりますが、友好関係はそのまま継承されました。（今回の大震災を受けて、庄内町では総力を挙げて南三陸町を支援しています）

さて、南三陸町も、これまで何度か津波に襲われてきた歴史を持ちます。近年では、1960年のチリ地震津波で大きな被害を受けています。そこで、防波堤・防潮堤・水門などを設置していたのですが・・・。

今回の東北地方太平洋沖地震では、僅かな平野部に集中していた市街地の大半が津波にのみ込まれてしまいます。町役場庁舎も流されてしまいました。

旧歌津町地区も壊滅的被害を被りますが、高台にある伊里前小学校とそのさらに北側の高台にある歌津中学校は津波による大きな被害は免れました。

今回も衛星写真で、伊里前小学校周囲（旧歌津町中心部）の様子をご紹介します。



Google

今回は大震災後の写真のみです。中央が伊里前小学校、その上（北）が歌津中学校です。伊里前小学校の下（南）側に市街地が広がっていましたが、しかし、津波でほとんどの建物が流されました。まさに壊滅的被害です。

伊里前小学校では、4月29日、1ヶ月以上遅れて、ようやく卒業式を執り行いました。この春伊里前小学校を卒業したのは23人。伊里前小学校では、幸いにして犠牲になった児童はいませんでした。児童の中には大切な家族や家を失った子どももいて、卒業式を遅らせていました。

伊里前小学校では、5月10日に始業式を行い、授業を再開するそうです。

4月27日、天皇、皇后両陛下は、初めて宮城県に入られました。このニュースでは、津波によってがれきの山と化した市街地に向かって深々と黙礼される両陛下の映像が紹介されましたが、その場所は伊里前小学校の校庭だったのです。両陛下は、校庭の南端に立たれ、そこから見える歌津地区の市街地をご覧になりながら、1分間にわたり黙礼されました。

両陛下は、避難所になっている歌津中学校にも足を伸ばされ、避難所で暮らす人たちを励まされましたが、その後現地を発たれる際にも、伊里前小学校の校庭の南端に立たれ、再度黙礼されました。

その伊里前小学校にて“だがしや楽校”を開くことになったのですが、すでに被災地で活動している“だがしや楽校”普及員の佐藤仁さん（山形県酒田市）から、開くにあたってのメッセージが発せられていましたのでご紹介します。

内容：「チャレンジだがしや楽校でスタンプを集め、おもちゃを Get」

設定したチャレンジを克服することで「勝ち取ること」「諦めないこと」の大切さ、達成感を子供たちに体験してもらい、避難所生活で抑制されている「元々ある無邪気」を引き出してあげることで、避難所に元気を運ぶことがミッションです。

また、大きいお兄ちゃん、お姉ちゃんを指導する側に引き込み、避難所の子どもコミュニティーにおける異年齢間の絆、関係性、ご縁を残して行くことを究極の目標といたします。

それでは、阿部等さんの報告及び写真により“だがしや楽校 @ 南三陸町・伊里前小学校”をご紹介します。茶色の文字が阿部さんの報告文です。

今回は東北芸術工科大学&鶴岡工業高等専門学校のチームが現地に入りました。



校長先生が理解ある先生で、いっしょに子どもたち一人一人に声をかけながら、あっち向いてほいゲームを手伝っていただきました。

佐藤仁さんは子どもたちに大人気で、いろいろなゲームをしていました。写真はケースに入ったサイコロの目を当てる君も超能力者ゲームです。



“だがしや楽校”では、鶴岡高専のスライムづくり、芸工大のスタンプはがき作り・大きな落書き帳・他にいろいろ落下傘・だれでもピカソを行いました。

ゲームやだがしや楽校をやってスタンプを貰うとおもちゃがもらえる仕組みです。



スタンプはがき作り



大きな落書き帳



スライムづくり



たくさん遊んでスタンプをもらおうとおもちゃや本をゲット！

校庭の一角では仮設住宅が急ピッチで工事が進められていました。

これについて補足説明します。

本来、伊里前小学校校庭に仮設住宅を建設することはできません。なぜなら、伊里前小学校にも津波が到達しているからです。国の方針は「津波被害を受けた土地での仮設住宅建設は認めない」です。しかし、南三陸町では地形的に高台での用地確保が困難であること、地元住民から「実際に授業を行う小中学校で建設を認めないのはおかしい」という声が高まっていることから、国も方針を転換したようです。仮にここまで津波が到達しても、ここよりも高いところへの避難が可能であることも建設が認められた背景です。



阿部さんからの最後の報告と写真です。

阿部さんからの最後の報告と写真です。

校庭から見える南三陸町歌津地区の景色は悲惨な津波の跡の光景でした。



天皇・皇后両陛下も同じような景色をご覧になったのでしょうか。そして黙礼されました。写真の右手前に写っているのは、歌津公民館です。

歌津公民館は、旧歌津公民館が老朽化したのを受けて、その隣りに建設されたもので、2006年に完成し、その年の11月1日から利用開始となりました。

木造2階建てで、地元産の木材が使われ、延べ床面積約970平方メートルでした。全館バリアフリー（障壁除去）で、1階には多目的ホール、図書室などを設置、2階は会議室や研修室、和室などがありました。



写真は被災前の歌津公民館で、南三陸町のホームページに掲載されているものです。

阿部さんの報告の中に「校長先生が理解ある先生」という紹介があります。実はこの校長先生は、この4月から伊里前小学校の校長に着任されたばかりの人です。

宮城県では、3月から4月にかけての年度替わりに於いて、例年より規模は小さくしたそうですが、被災地の学校も含めて、教職員の異動を行いました。これについては、岩手県が被災地の学校については異動を凍結したこと、福島県も異動を行わなかったことから、宮城県内では議論になりました。

4月29日に執り行われた卒業式では、3月までの校長先生から卒業生に卒業証書が手渡されていたのです。

被災地とは、このように私たちが知らない様々なことが起きているのです。そして、このような事情の中で、被災者は、そして被災地の子どもたちは懸命に生きているのです。

私（山口）が、被災地での支援が甘くないと申し上げているのは、このためです。

今回“だがしや楽校 @ 南三陸町・伊里前小学校”を開催できたのは、それだけの事前準備があったからです。

阿部さんから送られてきた写真を見ますと、私が石巻市で見たものとは違うものを感じます。

4月22日の石巻市立湊小学校では、“だがしや楽校”が開かれていた空間は、子どもたちの笑い声が聞こえ、楽しい空間でした。しかし、楽しい空間は、そこだけでした。ちょっとでも視線をずらすと、校舎内でも気が重くなってしまう空間だったのです。

一方、“だがしや楽校 @ 南三陸町・伊里前小学校”は、お天気が良かったこともあり、明るく楽しい空間がいっぱい広がっているように感じました。上を見れば、青い空が広がり、気持ち良くなります。その中で、子どもたちは元気に楽しく遊んでいます。なんと素晴らしいことでしょう。

ところが、校庭の南側を見ますと、写真の景色が広がっているのです。美しい青い空、そして美しいコバルトブルーの海、そして「悲惨な津波の跡の光景」が1枚の写真に収まっているのです。

この写真は「これが現実なんだぞ！！」と強烈に突き付けているのです。

私たちは、この現実から逃れることはできないのです。まずは、このことをしっかり認識する

ことです。その上で、自分ができる支援を行うことです。

今回も、鶴岡工業高等専門学校や東北芸術工科大学の学生さんをはじめとする“だがしや楽校アシストチームプロジェクト”のメンバーは、早朝に鶴岡や山形を発ち、その日の内に戻るという強行スケジュールにて“だがしや楽校”を行いました。

「お疲れ様でした」と申し上げます。

情報&写真提供：阿部等さん（だがしや楽校だがしや倶楽部）

企画・制作・編集：山口充夫（だがしや楽校コーディネーター）